

メキシコの政策金利引き上げについて

ポイント① 政策金利を7.00%に引き上げ

6月22日、メキシコ中央銀行は金融政策決定会合を開催し、政策金利であるオフィシャル・オーバーナイト・レートを0.25%引き上げ、年率7.00%とすることを決定しました。利上げは7会合連続となり、市場参加者の多くは、今回の利上げを予想していました。

ポイント② インフレ抑制に配慮

同中銀は、声明において「経済成長に対するリスク・バランスは、引き続き低下方向」としながらも、インフレ抑制に配慮する姿勢を示しました。

5月のインフレ率は、前年同月比で6.16%と同中銀の目標上限の4%を引き続き上回る水準となったものの、前月比では低下しました。また、コアインフレの前月比伸び率は3か月連続で低下しました。

同中銀はインフレ率について、ガソリン価格の自由化や最低賃金の引き上げなどいくつかの一過性の要因に言及したうえで、今後数か月は中銀の目標レンジの上限を上回って上昇するものの、その後2017年末から2018年にかけては低下に転じ、2018年末には目標中心値の3%に達するとの見方を維持しています。

また、声明では、前週利上げが行なわれた米国の金融政策にも言及し、「メキシコと米国間の相対的な金融ポジションの変化にも注意していく」と述べ、米国の金融政策も考慮に入れた金融政策運営を行なう姿勢を引き続き示しました。

ポイント③ メキシコペソは小動き

6月22日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、メキシコペソは対米ドルで前日比0.7%程度、対円で同0.6%程度のメキシコペソ高となりました。

図1：政策金利の推移

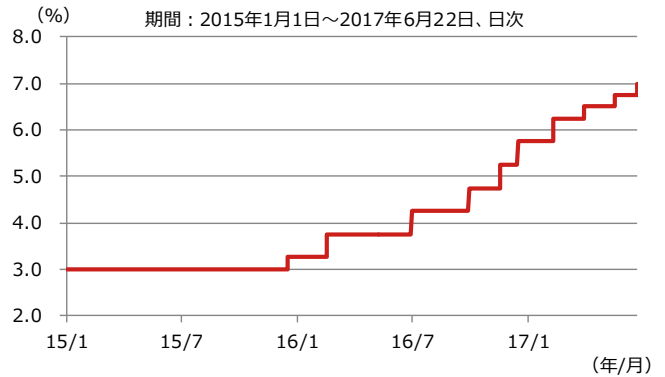


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

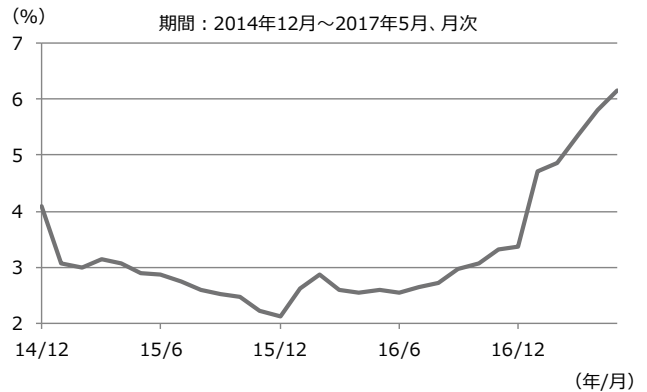
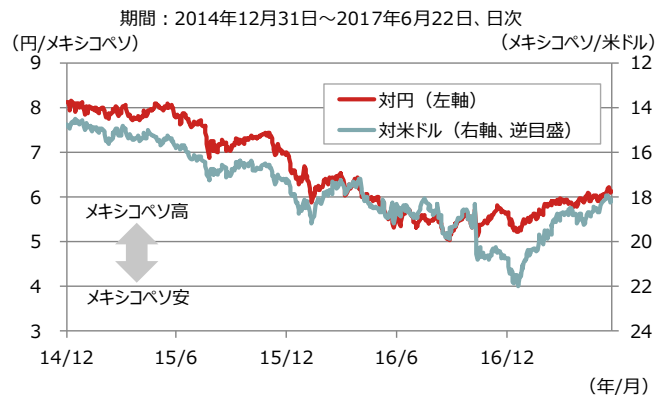


図3：為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

7月7日	消費者物価指数 (6月)
7月12日	鉱工業生産指数 (5月)
8月10日	金融政策発表